

令和7年度

2 学年 音楽科 年間指導計画・評価計画

担当 [松村朋子]

教 科 の 目 標	指 導 ・ 評 価 の 重 点 お よ び 工 夫 点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	個人で考える時間を確保し、音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号について、曲想と音楽の構造と関わらせて理解させ、知識・技能の定着を図る。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	グループワークや ICT 機器を活用した授業を積極的に行っていくことで、生徒が自ら学ぶ内容に対し、主体的・協働的に取り組もうとしている。	スモールステップでの学習を中心とし、基礎的な知識・技能の定着を図る。また、技能試験・定期考査を実施し、振り返りの機会を与える。

◎単元（１～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	・「交響曲第 5 番ハ短調」	・オーディオ機器の再生	3	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
5月	・フーガ短調	・オーディオ機器の再生	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す物質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	作品の特徴とその背景にある人物や歴史および奏でられている音色に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている
	・夏の思い出	・端末の機能（学習内容の復習や評価・フィードバック）	3	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
6月 7月	・合唱コンクールに向けて ・課題曲練習	・端末の機能（学習内容の復習や評価・フィードバック）	5	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

9月 10月	・合唱コンクールに向けて ・課題曲、自由曲練習	・端末の機能 (学習内容の復 習や評価・フィ ードバック)	6	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりにつ いて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声な どを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に 付け、歌唱で表している。	音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚 し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ ながら、知覚したことと感受したこととの関わりにつ いて考え、どのように歌うかについて思いや意図を もっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心 をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働 的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	・サンタルチア	・端末の機能 (学習内容の復 習や評価・フィ ードバック)	2	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景 との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発 声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に 付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それら の働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知 覚したことと感受したこととの関わりについて考え、 曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかにつ いて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景 との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみ ながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取 組もうとしている。
11月	・歌舞伎「勸進帳」 ・長唄「勸進帳」から	・オーディオ機器 の再生	3	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の 芸術との関わりについて理解している。 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた 発声との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発 声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に 付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働 きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚した ことと感受したこととの関わりについて考えると もに、曲や演奏に対する評価とその根拠について 考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働 きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚した ことと感受したこととの関わりについて考え、曲に ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかにつ いて思いや意図をもっている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の 芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽し みながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた 発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽し みながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に 取り組もうとしている。
12月	・「アイダ」から	・オーディオ機器 の再生	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解して いる。	【思】音色、旋律、テクスチャを知覚し、それら の働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知 覚したことと感受したこととの関わりについて考え るともに、曲や演奏に対する評価とその根拠につ いて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いて いる。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音 楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞 の学習活動に取り組もうとしている。
1月	・ギター	・端末の機能 (学習内容の復 習や評価・フィ ードバック)	4	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景と の関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それ らの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、 知覚したことと感受したこととの関わりについて 考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのよう に表すかについて思いや意図をもっている。	作品の特徴とその背景となる文化や歴史およ び楽器の奏でる音色に関心をもち、音楽活動 を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習 活動に取り組もうとしている。
2月	創作	・端末の機能 (学習内容の復 習や評価・フィ ードバック)	3	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、 対照などの構成上の特徴について、表したいイ メージと関わらせて理解している。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくる ために必要な、課題や条件に沿った音の選択 や組合せなどの技能を身に付け、創作で表して いる。	リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働 きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚 したことと感受したこととの関わりについて考え、 まとまりのある創作表現としてどのように表す かについて思いや意図をもっている。	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、 対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活 動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学 習活動に取り組もうとしている。
3月	・世界の諸民族の音楽	・オーディオ機器 の再生	2	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生 まれる音楽の多様性について理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それ らの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、 知覚したことと感受したこととの関わりについて 考えると、音楽表現の共通性や固有性について 考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いて いる。	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生 まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動 を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学 習活動に取り組もうとしている。
評価材および評価方法				実技試験、定期考査、ワークシートへの取り組み状況	実技試験、定期考査、ワークシートへの取り組み状況	実技試験、定期考査の記述内容、授業及びワークシート への取り組み状況、